

# 南海トラフ巨大地震津波から生き抜くために...

## ゆれたら

長い揺れや強い揺れの後には必ず津波が来ると思って下さい。揺れがおさまってきたらすぐに避難をしましょう。

## とにかく

津波警報や津波注意報の発表を待たず、身一つで。(メガネ、薬、携帯ラジオ、懐中電灯など避難するのに必要なものは、すぐ持ち出せるようにしておきましょう。)

## いそいで

近くの高台や津波避難場所へ早く逃げましょう。原則、車は使用せずに走って逃げてください。(渋滞に巻き込まれたり、車のカギを探したりして逃げ遅れる可能性があります。)

## 逃げましょう!

南海地震のような大地震の場合、高知県内全域で同時に大きな被害が発生することが予想されています。このため、全ての地域での消防機関などによる避難誘導や人命の救助などは困難です。まずは「自分の命は自分で守る!」という事が大切です。



大月町に津波が来るまで  
地震発生から  
同時または **5分!!**

### 揺れの対応

#### ■ まずは身の安全確保

揺れを感じたら、丈夫なテーブルや机の下に身を隠し、安全を確保しましょう。風呂場・トイレ等は比較的安全です。

#### ■ 出口の確保と冷静な行動を

揺れによって、出入り口が開かなくなる場合があるため、ドア等を開けて逃げ口を確保します。急いで飛び出すと瓦等の落下物があり大変危険です。

#### ■ 狭い路地や塀・川べりは避けて

狭い路地では、看板等の落下物やたれ下がった電線、また、ブロック塀や門柱、自動販売機等は倒れやすいので危険です。近づかないようにしましょう。

#### ■ 火が出たら、すばやく消火

火が消せる時はすばやく、**余裕がない時はまず身の安全を確保し、状況を見て火の始末を。** 万一出火しても天井に燃え移る前なら、初期消火は可能です。「火事だ!」と大声をだして隣近所に応援を求めるとともに、消火に努めましょう。

### 津波の特徴

#### 津波の速さはジェット機並み!

水深が4000~5000mの深海では、津波が太平洋を伝わる速さは、ジェット機並みになります。海岸近くでも秒速10m程度の速さのため、津波が見えてからではとても逃げきれません。



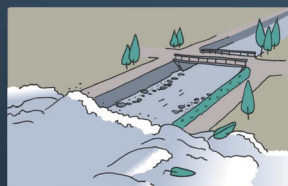
#### 津波は繰り返し襲ってくる!

津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。また、1回目が最も大きいとは限りません。1回目で安心せずに、波が落ち着くまで注意し、警報・注意報が解除されるまで海岸に近づかないようにしましょう。



#### 川も水路も溢れながら、さかのぼる!

津波は、河川や水路などに沿って遡上します。内陸深くまでさかのぼり、河川の堤防を越えて市街地や田畑が浸水することがあります。



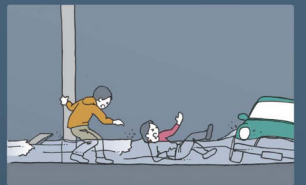
#### 津波の高さは想像を超える!

津波の高さは海岸の地形などに大きく左右されます。沿岸での津波の高さが1mでも、津波の遡上はその数倍から場合によっては10倍程度の高さになり、大きな被害をもたらします。



#### ひざ上の高さでも人は立ってられない!

50cmの津波でも車が流される危険性があります。数十cmの津波でも人間は簡単に流されてしまい、命を失う可能性もあります。津波が到達するまでに早期の避難が必要です。



#### 引き潮がなくても津波は襲ってくる!

津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。地震の起こり方や、震源付近の地形によっては、引き潮が起こらないこともあります。

